

令和6年度

地域とともにある学校づくり
田無第一中学校 I J 学級

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 西東京市の文化・歴史について学ぼう①
(活動名)

ねらい：

- ・自分たちの暮らす西東京市の文化・歴史を学ぶ。
(西東京市の保谷地区が藍玉生産で栄えた地域であったこと)
- ・藍を種から育て、藍の葉のたたき染めと生葉染めを行い、藍染め文化を体験する。

【1学期】

「藍染めの歴史について学ぶ」
1学期に導入として、下保谷の自然と文化を記録する会が発行した「西東京市の藍の話」を使い、藍染めに使用される植物の種類・世界と日本の藍の歴史・西東京市で行われていた藍の栽培、藍玉生産について学習を行った。



【1学期】

「藍の栽培」
藍の栽培で有名な徳島県の高校から藍の種子を譲っていただき、藍の栽培を行った。



【7月】

「藍のたたき染め」
藍の葉を収穫し、エコバッグに自分で好きな模様になるように藍の葉を並べ藍の葉のたたき染めを行った。



【9月】

「藍の生葉染め」
藍の葉を収穫し、ミキサーにかけて、藍の染液を作り、そこにビー玉で絞りを作った木綿の布をつけて藍の生葉染めを行った。



まとめコラム

藍染め自体を知らない生徒も多かったが、植物の葉を使って布を染められること、ジャパンプルーとして有名な藍染めの原料が西東京市（旧保谷市）で育てられていたことを知ることができた。また、自分たちで藍の栽培を行ったことで、小さな一粒の種から藍染めに使用できる大きさまで成長する過程を体験することができた。たたき染めでは、藍の葉の成分を布に染め付けることに苦労しながらも、長い時間を経る中で少しずつ緑から藍色に変わっていく様子を体験することができた。生葉染めでは、目の前で緑色が青色に変わっていく様子を見ることができ、自然と感嘆の声が上がっていた。これらの体験を通し、西東京市の藍の文化について学ぶことができた。